

発電システム対応住宅用分電盤

太陽光発電システム、ガス発電・給湯暖・冷房システム、家庭用燃料電池システムなど、多様化する住宅の電気設備を備える住宅に最適です。

それぞれ発電システム用のブレーカもあらかじめ組み込み済みです。



太陽光発電システム用



特長

1. 商用電源側および太陽光発電システム側それぞれ専用の遮断器を組み込み済みで、太陽光発電システムを導入される住宅にピッタリです。
2. 2次送りタイプ(分電盤の末端に太陽光発電システムを接続する場合には、太陽光発電システム側用ブレーカに分岐接続型を採用し、大幅な小型化を図りました。



ガス発電・給湯暖・冷房システム用

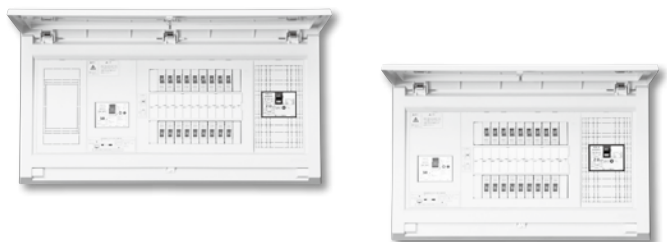


特長

1. ガス発電・給湯暖・冷房システム用に、配線用遮断器(3P3E 20A)を組み込み済みです。
2. ガス発電・給湯暖・冷房システム用、太陽光発電システム用に、それぞれのシステム用のブレーカを各1台ずつ組み込んだ分電盤もあります。



家庭用燃料電池システム用



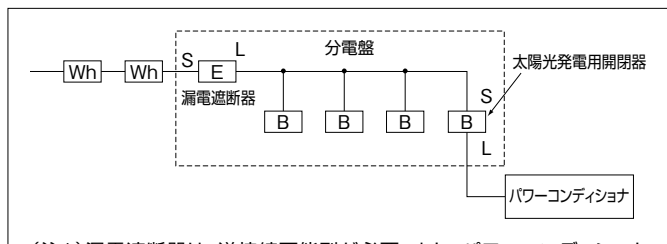
特長

- 燃料電池システム用に、配線用遮断器(3P3E 20A)を組み込み済みです。

内線規程 JEAC8001-2005「住宅用系統連系型太陽光発電設備の施設」

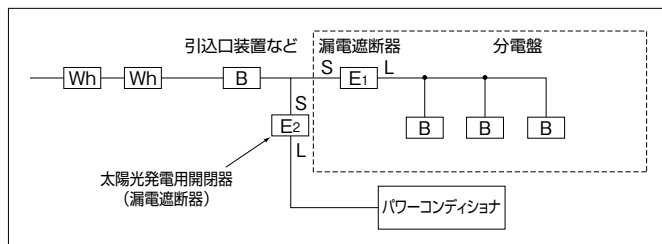
3588-3(資料3-5-5)から

接続例1



- (注1) 漏電遮断器は、逆接続可能型が必要。また、パワーコンディショナが単相3線式電路(単相2線式200Vを含む。)に接続される場合は3P3Eが必要となる。
- (注2) 太陽光発電用開閉器の負荷側(L)にパワーコンディショナを接続すること。
- (注3) 太陽光発電用開閉器を漏電遮断器の直後に接続すると、分電盤に定格以上の電流が流れるおそれがあるため、このような接続は行わないこと。

接続例2



- (注1) 漏電遮断器E₂は、逆接続可能型が必要になる。また、漏電遮断器E₂にあっては、中性線欠相保護機能付きのものであることを要しない。この接続例では、パワーコンディショナが単相3線式電路(単相2線式200Vを含む。)に接続される場合であっても、漏電遮断器E₁、E₂は3P2Eでよい。
- (注2) 太陽光発電用開閉器の負荷側(L)にパワーコンディショナを接続すること。

D

スタンダード
オール電化対応
発電システム対応
機能付
EVEVE回路付
官公庁対応
WHボタンスその他
毒分岐ブ力カ錠
オフショ
資料
外形寸法図
生産終了品